

「徳島県G I G Aスクール構想」資料

ICTを活用した 指導のポイント・事例集

高等学校

徳島県教育委員会

目 次

国 語	1
地理歴史	4
公 民	6
数 学	7
理 科	9
保健体育	11
芸 術	12
外 国 語	13
家 庭	16
総合的な探求の時間	18
特別活動	19
家庭連絡	20

国語総合(現代文分野)

相手に分かりやすい発表を工夫する。

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 単元の目標を知る。 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりする。</p>	
<p>2 中学生対象にスライドを活用した学校紹介をする想定で発表する方法等を理解する。</p> 	<p>A 1 教員による提示</p> <p>2 スライド例も含めた学習の流れを電子黒板に提示する。 (MetaMoJi Classroom)</p>
<p>3 学校紹介にふさわしい写真とキャッチコピー、原稿を考える。</p> 	<p>B 2 調査活動</p> <p>3 学校紹介にふさわしい写真を撮る。(カメラ)</p>
<p>4 紹介スライドを作成する。</p> 	<p>B 4 表現・制作</p> <p>4 タブレットPC上の写真をもとに、スライドを作成する。 (MetaMoJi Classroom)</p>
<p>5 スライドを用いて発表し、質疑応答を行う。</p> 	<p>C 1 発表や話し合い</p> <p>5 タブレットPC上の作品を、電子黒板に掲示し、発表させる。 (MetaMoJi Classroom)</p>
<p>6 他の生徒の工夫していた点を参考に、自分の発表を振り返る。</p>	

【効果】

- ・場の状況に応じて資料や機器を効果的に使い、相手の理解が得られるように表現を工夫することは、新科目「現代の国語」の指導事項にもつながる。
- ・資料の素材の収集、編集、提示まで、効果的な発表に関係する一連の活動がタブレットPCのみで行うことができ、効率化を図ることができる。

国語総合(古典分野)

古典における自然観について和歌の表現に即して読み味わう。

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 単元の目標を知る。 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わう。</p> <p>2 「桜」に関するイメージマップを作成する。</p>  <p>3 桜を詠んだ和歌についてワークシートを用いて学習し，作者の心情を考察する。</p> <p>4 各自の桜に対するイメージと，ワークシートで考察した内容をもとに，古典における自然観について，グループで意見交換し，その内容をまとめる。</p>  <p>5 グループでまとめた内容をクラス全体で発表する。発表を受けて，さらに考察したことを各自でまとめる。</p> 	<p>B 1 個に応じる学習 2, 3 タブレットPC上のワークシートを各自で取り組む。 (MetaMoJi Classroom)</p> <p>C 2 協働での意見整理 4 タブレットPC上のワークシートをグループで共有し，各自の意見を書き込みながら，整理して集約する。 (MetaMoJi Classroom)</p> <p>C 1 発表や話し合い 5 タブレットPC上の作品を，電子黒板に掲示し，発表する。 (MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・ 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈することは，新科目「言語文化」の指導事項にもつながる。また，その学習の過程を機器に保存することで，考えの形成を促すことができる。
- ・ グループでの意見交換の内容をタブレットPCで可視化しながらまとめることができるので，意見整理がスムーズである。また，そのデータをそのまま全体発表に用いることができるので，効率化を図ることができる。

国語総合(現代文分野)

対象を的確に描写し，相手に効果的に伝わるよう工夫する。

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 言葉や写真を工夫してお気に入りの場所を俳句で伝えよう。</p> <p>2 お気に入りの場所を決めて，その理由を考える。</p>  <p>3 俳句を作り，工夫したところを書く。</p>  <p>4 自分の俳句を発表し，工夫したところを共有し合い，お互いの良さを認め合う。</p>  <p>5 自分の想いを表現するために工夫したところや，みんなにほめられたところをまとめて書く。</p>	<p>B 2 調査活動</p> <p>2 お気に入りの場所を写真に撮る。(カメラ等)</p> <p>B 4 表現・制作</p> <p>3 そのタブレットPC上の写真に自分の俳句を書かせる。 (MetaMoJi Classroom)</p> <p>C 1 発表や話し合い</p> <p>4 タブレットPC上の作品を，電子黒板に掲示し，発表させる。 (MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・俳句を作る際，自分の想像した場面をタブレットPCで撮影し，常に写真を確認しながら創作したので，多くの生徒が自分の作品を作ることができた。
- ・他の生徒の発表を聴くことにより，俳句を写真と文字で楽しむことができ，自分の俳句の振り返りを深めることができた。

地理

ハザードマップを活用した防災意識の向上

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 徳島県の防災・減災マップを活用し、自分の住む市町村のハザードマップを確認することで、身の回りで起こりうる自然災害に対する防災意識を高める。</p> <p>2 徳島県のHPにアクセスし、徳島県の防災・減災マップを確認する。</p>  <p>3 自分の住む市町村の災害想定等を確認し、どんな自然災害のリスクがあるのかを知る。</p>  <p>4 身の回りで起こりうる自然災害のリスクや避難場所までの避難経路・避難方法等について、考えたことを発表する。</p>  <p>5 同じ市町村に住む他の生徒から寄せられた意見や新たに気づいた点などをまとめておく。</p>	<p>A 1 教師による提示 2 徳島県の防災・減災マップを提示する。(徳島県総合地図提供システム)。</p> <p>B 2 調査活動 3 徳島県の防災・減災マップにアクセスする。(徳島県総合地図提供システム)。</p> <p>C 1 発表や話し合い 4 タブレットPC上の画面を、書き込み機能をもつ大型提示装置を用いて提示し、発表させる。(MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・タブレットPCを用いてインターネットにアクセスし、身近な場所のハザードマップを確認できるようになる。
- ・普段何気なく通っている通学路や町内の危険な箇所を確認するとともに、避難方法・避難経路についての新たな気づきがある。

歴史

江戸中期の対外政策の特徴

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 江戸中期の対外政策の特徴を知る。 「問い」の例：「鎖国」に変わる言葉を考えよう。</p> 	<p>A 1 教師による提示</p> <p>1 電子黒板に問いを提示し、全員で確認する。</p>
<p>2 教師が提示した資料をインターネットを用いて収集し、その特徴について自らの言葉で表現する。</p> 	<p>B 3 思考を深める学習</p> <p>2 資料から気づいた特徴をタブレットPC内の付箋に書き出す。 (Web検索, MetaMoJi Classroom)</p>
<p>3 個々で作成した付箋をもとに、グループで特徴を表現する言葉をお話し合い、理由とともに整理する。</p> 	<p>C 2 協働での意見整理</p> <p>3 タブレットPC内で、グループの意見の整理・集約を行う。 (MetaMoJi Classroom)</p>
<p>4 グループ単位で発表し、同じ歴史事象でも様々な捉え方があることを知る。</p> 	<p>C 1 発表や話し合い</p> <p>4 グループの代表者のタブレットPC画面を前に写し、発表する。 (MetaMoJi Classroom)</p>
<p>5 振り返り 本時の問いに対して、自分自身の言葉で表現する。</p> 	<p>B 4 表現・制作</p> <p>5 発表を聞いて自分の考えをまとめ、タブレットPC内のワークシートに書き込む。 (MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・電子黒板とタブレットPCを組み合わせることで、個人での学びとグループや全体での共有作業がスムーズに行うことができる。
- ・タブレットを用いることで、様々な資料をグループ内で共有したり意見を集約したりすることができ、歴史をより多面的に捉えることができる。

公民

少子高齢化社会における財政の在り方

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 「問い」の設定：「財政赤字が常態化する中で、高齢者や通学の高校生が利用する民間の赤字バス路線を存続させるために公的資金を導入すべきか」</p> <p>2 経済活動における企業の役割と責任、財政及び租税の意義、財政の状況など、中学校までに習得した知識をまとめる。</p> <p>3 問いの解決に必要な資料をリストアップしてまとめるなど、解決に見通しを立てる。 </p> <p>4 グループで、A町の財政状況の推移、高齢化の状況等解決に必要な情報や事例等を共有し、その解決方法についてグループ内で協議し対話を通して、多面的・多角的に考察し、グループとして根拠を持って選択・判断する。 </p> <p>5 グループ単位で発表する。その際、他グループの意見を聞き、自己の学習過程を振り返る。</p>	<p>B 2 個に応じる学習 2, 3 個人毎にこれまで学んだことや調べたことをタブレットを活用しまとめる。</p> <p>B 3 思考を深める学習 4 個人で作成した資料やデータを互いに共有し、意見をまとめることを通してより良い解決策を探る。(MetaMoJi Classroom)</p> <p>C 1 発表や話し合い 5 効果的に発表する技能を身につける。 </p>

【効果】

- ・電子黒板やMetaMoji Classroomを活用することで、他者の意見を素早く理解することができたり、理解を深めることができる。
- ・必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能が習熟する。

数学 I

軸に文字を含む 2 次関数の最大値・最小値

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 軸に文字を含む 2 次関数の最大値・最小値を求めてみよう。</p> <p>2 最小値について考える。</p>  <p>3 最大値について各自で考え、ワークシートに解答する。</p>  <p>4 数名の生徒の発表を聞く。</p>  <p>5 他の生徒の解答を参考にしながら自分の解答を見直し、場合分けによる最大値・最小値の求め方について振り返りを行う。</p>	<p>A 1 教師による提示</p> <p>2 大型提示装置にグラフが動く様子を提示しながら説明する。 (グラフソフト GRAPES)</p> <p>B 3 思考を深める学習</p> <p>3 タブレット PC 上でグラフを動かさせながら、最大値を求めさせる。(MetaMoJi Classroom グラフソフト GRAPES)</p> <p>C 1 発表や話し合い</p> <p>4 数名の生徒の解答を大型提示装置に提示し、発表させる。 (MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・タブレット PC を用いて自分でグラフを動かして見ることで、イメージがつかみやすく、場合分けの必要性を認識することができる。
- ・タブレット PC を用いることで効率よく生徒の解答を共有することができ、他の生徒の発表を参考に自分の解答を振り返ることで、場合分けによる最大値・最小値の求め方について理解を深めることができる。

数学A

「平面図形」における定理の証明

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 「平面図形」における定理の証明を考える。</p> 	<p>A 1 教師による提示</p> <p>1 大型提示装置に定理を提示しながら説明する。 (GeoGebra幾何)</p>
<p>2 タブレットPC上のワークシートの説明を聞き、定理の証明を考える。</p> 	<p>B 3 思考を深める学習</p> <p>2 タブレットPC上で、証明の手掛かりなどを示唆する。既に学習した図形を提示し、その性質と対比させる。 (MetaMoJi Classroom GeoGebra幾何)</p>
<p>3 生徒の発表を聞く。ポイントとなる発表者以外の生徒の解答も取り上げ、定理の証明についてまとめる。</p> 	<p>C 1 発表や話し合い</p> <p>3 生徒のワークシートを大型提示装置に提示し、発表させる。ポイントとなる発表者以外の生徒の解答も提示する。 (MetaMoJi Classroom GeoGebra幾何)</p>
<p>4 証明の過程や結果を振り返る。</p> 	<p>B 1 個に応じる学習</p> <p>4 タブレットPC上で生徒の理解度を確認し、必要な生徒に支援をする。 (MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・タブレットを用いて視覚的に問題を把握させ、解決に至る手掛かりを示唆することで、生徒が主体的に考察することができた。
- ・タブレットを用いて既に学習した図形の性質と対比させることで、図形の性質について発展的・統合的に考察することができた。

地学基礎

太陽のスペクトルと太陽の元素組成

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 「問い」の設定：「太陽の元素組成を調べるにはどうすればよいだろうか」</p> <p>2 ナトリウムの炎色反応とナトリウムランプの様子を、実験動画で観察する。</p>  <p>3 ナトリウムランプの前でナトリウムの炎色反応を行ったときの見え方について、予想とその根拠を互いに発表する。</p>  <p>4 実験動画を見た後、ブラウンホーファー線とその原理についての説明を聞く。</p>  <p>5 太陽の元素組成を調べる方法を、グループで話し合い、そのしくみとともに発表する。</p>  <p>6 本時の振り返りを行う。</p>	<p>A 1 教師による提示</p> <p>2 事前に録画しておいた実験動画を大型提示装置に提示する。 (PowerPoint)</p> <p>C 1 発表や話し合い</p> <p>3 アンケート形式で生徒の予想を一覧表示するとともに、予想の根拠を互いに発表させる。 (MetaMoJi Classroom)</p> <p>A 1 教師による提示</p> <p>4 事前に録画しておいた実験動画を大型提示装置に提示する。 (PowerPoint)</p> <p>C 2 協働での意見整理</p> <p>5 タブレットPCを用いて、互いに話し合いを行い、意見を整理して発表させる。 (MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・タブレットPCを用いた発表により、お互いの意見交換や考えの共有などを促し、学習活動を通して自分の考えを深めることができる。
- ・タブレットPCを用いることで、説明時間を短縮することができ、生徒の活動時間を増やすことができる。

化学基礎

中和滴定～実験プリントの作成～

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 中和滴定の「実験プリント」を作成しよう。</p> <p>2 中和滴定の各実験操作ごとの説明部分を分担して作成する。</p>  <p>3 各自で作成した説明部分を基に全体の実験プリントを作成する。</p>  <p>4 各班で作成した「実験プリント」について全体で話し合った意見を反映させて改善する。</p>  <p>5 作成した「実験プリント」を用いて中和滴定の実験を行う。</p>	<p>B 1 個に応じた学習</p> <p>2 タブレットPCを用いて実験操作を撮影し、説明文をつける。 (カメラ Word)</p> <p>C 3 協働制作</p> <p>3 タブレットPCを用いて、協働で作業しながら「実験プリント」を作成する。 (Word)</p> <p>C 2 協働での意見整理</p> <p>4 電子黒板を用いて提示し、発表や話し合いを行い、意見を整理する。 (Word)</p>

【効果】

- ・タブレットPCを用いた撮影により、自分の操作の課題を見つけることができる。
- ・タブレットPCを用いた発表により、お互いの意見交換や考えの共有などを促すことができる。
- ・他の生徒の発表を聴いて、自分の考えを深めることができる。

保健体育

器械運動（マット運動）～どうすれば美しい開脚前転になるか～

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 美しい開脚前転をするにはどうすればよいだろうか。</p> <p>2 模範演技を確認する。</p>  <p>3 開脚前転を行い、演技を撮影し合う。</p>  <p>4 開脚前転の仕方についてグループで話し合い、各自の課題を見つける。</p>  <p>5 課題を意識して、互いに教え合いながら、練習に取り組む。</p> <p>6 本時の振り返りを行う。</p>	<p>A 1 教師による提示</p> <p>2 事前に録画しておいた模範演技を大型提示装置に提示する。 (ビデオ MetaMoJi Classroom)</p> <p>B 2 調査活動</p> <p>3 グループ内でのお互いの演技を撮影し合う。 (ビデオ)</p> <p>C 1 発表や話し合い</p> <p>4 タブレットPCに配布された模範演技の動画と自分の動画を見比べながら、演技の課題を見つける。 (MetaMoJi Classroom ビデオ)</p>

【効果】

- ・自分の演技を動画で見ることにより、多くの生徒が自分の演技の課題を見つけることができた。
- ・自分の演技の課題を視覚的に理解することができ、より具体的な目標をもって練習に積極的に取り組むことができ、演技の質の向上がみられた。

美術

彫刻作品の制作過程をタブレットPCで確認し，制作を行う。

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 テーマを決め，感情や意味が伝わるような手を工夫してつくろう。</p> <p>2 参考作品を鑑賞し，彫刻のよさや特徴を知る。</p>  <p>3 テーマを考え，スケッチを描く。ポーズを決め角度を変えてデッサンし，構想を深める。</p> <p>4 関節の位置や量感を考え，芯をつくり，手でポーズを取り，感じを確かめながら制作を行う。</p>  <p>5 教師が行う制作手順を見た後，各自制作を行う。</p>  <p>6 完成した自分の作品について表現意図や制作上の工夫を発表し合う。</p>	<p>A 1 教師による提示</p> <p>2 参考作品の画像を各生徒に配信する。(MetaMoji Classroom)</p> <p>A 1 教師による提示</p> <p>4 実物投影机により教師の制作の様子を大型提示装置に提示しながら説明する。(MetaMoji Classroom)</p> <p>B 1 個に応じた学習</p> <p>5 教師が作成した制作手順の動画を，各自のタブレットPCで見ながら，制作を行う。(MetaMoji Classroom)</p>

【効果】

- ・参考作品を生徒それぞれのタブレットPCに配信することで，生徒自身が画像を拡大したりすることができ，より作品の特徴をとらえやすくなった。
- ・文章や口頭の説明に比べて，制作の方法を動画で個々の生徒のペースに合わせて確認することで，制作の意欲の高まりと自立性が向上した。
- ・説明時間を短縮することができ，生徒の活動時間を増やすことができた。

国際交流

海外の学校と、SDGsをテーマに交流

交流の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 交流校と共通テーマを設定する。 「海外の交流校と、環境問題について自分たちができることを考えよう」</p> <p>2 徳島で課題となっているゴミ問題など、海外の学校と共有したいことを決定し、資料と説明内容をまとめる。</p>  <p>3 海外交流校と接続し、環境問題に関する現状と課題、今後取り組みたいことなどについてグループ・全体で意見交換する。</p>  <p>4 話し合った内容と、次回の交流までに取り組むことについてまとめ、後日交流校と共有する。</p> 	<p>B 2 調査活動</p> <p>2 地域の環境問題の現状と課題がよく分かる資料を収集し、説明用のスライドを作成する。 (Web検索・PowerPoint)</p> <p>C 4 学校の壁を越えた学習</p> <p>3 タブレットPCを用いて小グループでお互いの情報を共有した後に全体で共有する。(zoom)</p> <p>C 2 協働での意見整理</p> <p>4 交流相手の印象に残った発言や写真等資料、感想、次回までに取り組む内容などをグループごとにまとめる。(MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・タブレットPCを用いて自分で収集した資料を使うことで意見交流が活発になり、グループ内の議論が深まるとともに主体的に取り組むことができた。
- ・同年代の海外の高校生とつながることで、異なる考えや文化にリアルタイムで触れることができ、視野を広げることができた。

英コミュ I

英語で徳島が誇る文化を紹介するウェブページを作成

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 「海外の人が訪れたいと思うような、徳島を紹介するウェブページを英語で作成しよう。」</p> <p>2 実際に日本で異文化体験をした外国人のブログや観光地の感想などを見て、行きたいと思う観光地を選び投票する。また、外国人観光客の関心と英語で紹介するための表現を知る。</p>  <p>3 グループで、紹介したい徳島の情報や写真などの素材を収集し、それらを活用して英語のウェブページを作成する。</p>  <p>4 各グループの作品を共有し、他のグループの効果的な表現や工夫している点について話し合い、自分たちの作品に修正を加えて提出する。</p> 	<p>A 1 教師による提示</p> <p>2 日本で人気の観光地や異文化体験に関する英語のウェブページを提示し、投票機能を使って最も人気のあるものの特徴を共有する。(MetaMoJi Classroom・まなびポケット)</p> <p>B 2 調査活動</p> <p>3 タブレットPCを用いて情報を収集し、写真等も使って完成させる。(Web検索・MetaMoJi Classroom)</p> <p>C 1 発表や話し合い</p> <p>4 電子黒板で他のグループの作品を共有し、最後に修正を加えて提出する。(MetaMoJi Classroom)</p>

【効果】

- ・実際にウェブ上にある記事等を見ることで、英語の表現の仕方や写真の使い方などを参考に、情報を主体的に収集・判断して作成することができた。
- ・投票機能を使うことにより、全体の意見を瞬時に把握して共有することができ、効率的に本時で取り組みたいことを伝えることができた。

英語表現 I

私たちの学校を英語で紹介しよう

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 音声や写真、動画を使って自分の学校を英語で紹介しよう。</p>	
<p>2 各グループが、紹介したい内容を決め、分担して情報を集める。</p>	<p>B 2 調査活動</p> <p>2 紹介したい活動や場所を動画や写真に撮る。(カメラ等)</p>
<p>3 一人一人が、英語で紹介文・音声ファイルを作成し、写真・画像を貼り付ける。</p>	<p>B 4 表現・制作</p> <p>3 同時編集機能を活かして、グループ全員がシート上に紹介文などを書き込む。 (MetaMoJi Classroom)</p>
<p>4 グループでレイアウトを考える。各グループのシートを持ち寄り、クラスで一つの学校紹介フォルダを完成させる。</p>	<p>C 3 協働制作</p> <p>4 グループ内で意見交換し、レイアウトを工夫する。各グループの作品を一つのフォルダに入れる。 (MetaMoJi Classroom)</p>
<p>5 学校の魅力を伝えるために工夫したところや、みんなにほめられたところ、次にもっと工夫したいところを振り返る。</p>	

【効果】

- ・タブレットPCで、文字、写真、動画、音声ファイルを用いることができたので、表現の幅が広がり、多様なアウトプット活動を行うことができるようになった。
- ・タブレットPCで、同じシートへの書き込みや編集が容易にできたことから、活発な意見交換や協働作業につながり、より多くの言語活動に取り組むことができた。

家庭基礎

ライフステージに応じた食生活

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 ライフステージに応じた食生活について考える。</p> <p>2 夕食の献立について、ライフステージに応じたものとするために必要な情報を集める。</p>  <p>3 集めた情報を整理し、グループで献立を作成する。その際、どのような観点からその献立としたか、調理の工夫などについてもまとめる。</p>   <p>4 グループごとに発表する。</p>  <p>5 発表から、各ライフステージにおける食生活の特徴について、個人でまとめる。</p>	<p>B 2 調査活動</p> <p>2 Web検索を利用して必要な情報を収集する。(Web検索)</p> <p>C 2 協働での意見整理</p> <p>3 自分の考えを整理し、グループで共有する。 (MetaMoJi Classroom)</p> <p>C 3 協働制作</p> <p>3 話し合いを通じてグループとして意見をまとめる。(MetaMoJi Classroom) or (PowerPoint)</p> <p>C 1 発表や話し合い</p> <p>4 まとめたものを、電子黒板に掲示し、発表させる。(MetaMoJi Classroom) or (PowerPoint)</p>

【効果】

- ・ 検索サイトを使うことで、情報収集を効率的に行うことができる。
- ・ 情報を他者と共有したり、統合・整理することが容易にできる。
- ・ 調べたことを視覚的にわかりやすくまとめることで、理解を深めることができる。

家庭基礎

契約について

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 契約の重要性について理解する。</p> <p>2 消費者庁作成教材「社会への扉」の12のクイズのうち、Q1～Q5の問題をする。</p> <p>3 国民生活センターのサイトへアクセスし、20歳の相談件数の現状及びその内容について調べる。</p>  <p>4 事例をもとに、①被害が起こった原因、②今後の対応についてグループで話し合い、意見をまとめる。代表者が発表する。</p>  <p>5 トラブルに遭ってしまったとき、消費生活センターに相談できることを確認する。</p> <p>6 学習の振り返りを行う。</p>	<p>A 1 教員による教材の提示</p> <p>2 アンケート機能を利用して、回答させ、結果をグラフで示す。(Classi)</p> <p>B 2 調査活動</p> <p>3 検索サイトからホームページにアクセスする。(Web検索)</p> <p>C 2 協働での意見の整理</p> <p>4 話し合いを通じてグループとして意見をまとめる。(MetaMoj i Classroom)</p> <p>A 1 教員による教材の提示</p> <p>5 県の消費生活センターや消費者庁のホームページを示す。(Web検索)</p>

【効果】

- ・アンケート機能を使うことで、質問に対する全員の答えをすぐ見ることができる。
- ・検索サイトを使うことで、情報収集を効率的に行うことができる。
- ・他者との意見の統合や整理が容易にできる。

総合的な探究の時間

調査・分析のためのアンケートを作成する

授業の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 仮説に基づいた調査・分析を行うために、アンケートを行う準備をする。</p> <p>2 複数の回答項目の候補の中から仮説に基づいた結果が得られるのかに留意し、グループごとに回答項目の案をつくる。</p>  <p>3 作成した案をもとに、グループごとに実際にアンケートを行い、修正点がないか確認する。</p>  <p>4 グループごとに分析しやすいように集計表を作成する。</p> <p>5 作成したアンケートと集計表を共有し、仮説に基づいて調査・分析できるものであるか再度確認をする。</p>	<p>B 5 家庭学習</p> <p>2 事前にアンケートの回答項目を考えて提出し、共有する。 (まなびポケット)</p> <p>C 4 学校の壁を越えた学習</p> <p>3 事前に連絡調整を行ったうえで、インタビュー形式のアンケートを行う。(zoom)</p> <p>4 集計後に用いるグラフの種類をイメージし、シュミレーションしながら集計表を作成する。 (Excel)</p>

【効果】

- ・タブレットPCを用いて考えの共有や集計表の作成を行ったので、家庭でも授業中でも自分の考えを深めることができるようになった。
- ・タブレットPCを用いて個別にインタビューを行ったので、様々な意見を集約することができるようになった。

特別活動

z o o mによるオンライン終業式

活動の流れ	活用場面とアプリ操作
<p>1 本時の目標を知る。 学校生活に折り目を付け，新学期への動機付けとなる儀式の意義を理解する。休業期間中の生活の重要性を認識し，安全で規則正しい生活をおくことを意識する。</p> <p>2 教室で表彰伝達の様子を見る。</p>  <p>3 教室で校長先生の話聞く。</p>  <p>4 各HRにおいて，今学期の振り返りとともに，休業期間中及び新学期の目標を立てる。</p>	<p>A 1 教師による提示</p> <p>2 表彰伝達の様子を配信する。(Zoom)</p> <p>A 1 教師による提示</p> <p>3 訓話を配信する。(Zoom)</p>

【効果】

- ・ 気温や天候に左右されることがない。
- ・ 聞いた内容について，机上でメモをとることができる。
- ・ 移動時間が不要となり，効率的に活動を行える。

家庭連絡

I C T機器を使った家庭と学校をつなぐ事例

活用事例	活用場面とアプリ操作
<p>感染症拡大や、災害等で登校できない児童・生徒と連絡を取り合い、必要に応じて学習支援を行う。</p> <p>1 生徒の当日の体温や体調，昨日からの変化などを尋ね，健康観察を行う。</p> <p>2 家庭で待機している児童・生徒に課題を配布し，家庭学習を支援する。</p>  <p>3 家庭で待機している児童・生徒に対してオンラインで授業を行う。</p>	<p>C 4 学校の壁を越えた学習</p> <p>1 アンケート機能を利用し，生徒や保護者から回答を集める。（まなびポケット）</p> <p>B 5 家庭学習</p> <p>2 メッセージ機能を利用し，プリント等の課題を配布し，回収する。（まなびポケット Power Point）</p> <p>C 4 学校の壁を越えた学習</p> <p>3 テレビ会議システムを活用し，リアルタイムでの授業を行う。（zoom）</p>

【効果】

- ・タブレットPCのアプリ（まなびポケットなど）を利用することで，課題やアンケートを容易に届けることができた。また健康観察アンケートの回収状況も瞬時に把握でき，毎日の継続の負担も少なかった。
- ・タブレットPCを用いて，課題の配布や回収，オンライン授業を実施することにより，児童・生徒の学びを継続させることができた。また生活リズムを守るためにも役立った。。